MIZUHO　みずほ銀行　One MIZUHO

みずほCustomer Desk Report　2023/04/07 号（As of 2023/04/06）

市場営業部　為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	131.20
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	130.95	1.0903	142.71	1.2455	0.6716
SYD-NY High	131.90	1.0937	144.00	1.2486	0.6725
SYD-NY Low	130.79	1.0885	142.57	1.2413	0.6654
NY 5:00 PM	131.77	1.0921	143.85	1.2438	0.6673

	終値	（前日比）		終値	（前日比）
NY DOW	33,485.29	2.57	日本2年債	▲0.0500%	▲0.0200%
NASDAQ	12,087.96	91.10	日本10年債	0.4600%	▲0.0100%
S&P	4,105.02	14.64	米国2年債	3.8268%	0.0367%
日経平均	27,472.63	▲ 340.63	米国5年債	3.3729%	0.0029%
TOPIX	1,961.28	▲ 22.56	米国10年債	3.3014%	▲0.0067%
ｼｶｺﾞ日経先物	27,695.00	▲ 65.00	独10年債	2.1775%	0.0015%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,741.56	78.62	英10年債	3.4270%	0.0010%
DAX	15,597.89	77.72	豪10年債	3.2080%	▲0.0350%
ﾊﾝｾﾝ指数	20,331.20	56.61	USDJPY 1M Vol	12.77%	▲0.28%
上海総合	3,312.63	0.07	USDJPY 3M Vol	11.83%	▲0.06%
NY金	2,026.40	▲ 9.20	USDJPY 6M Vol	11.28%	▲0.01%
WTI	80.70	0.09	USDJPY 1M 25RR	▲1.92%	Yen Call Over
CRB指数	271.99	▲ 0.26	EURJPY 3M Vol	11.41%	▲0.30%
ドルインデックス	101.82	▲ 0.03	EURJPY 6M Vol	11.19%	▲0.12%

東京

東京時間のﾄﾞﾙ円は130.95ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。前日の米国の軟調な経済指標の結果を受けた流れから、ｵｰﾌﾟﾝ直後から売り圧力が強く130.79まで下落。ただ仲値にかけて盛り返して131円台に乗せると、その後は翌日に米雇用統計を控えていることによるﾄﾞﾙの買い戻しもあってか底堅い推移。引けにかけてもじりじりと上昇し、131.44ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、131.44ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ｲｰｽﾀｰ休暇を前に特段材料もない中、方向感なく推移する。午後に米4月1日までの新規失業保険申請件数の発表を控え、結局131.49ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。

ニューヨーク

海外市場のﾄﾞﾙ円は131円台半ばでｽﾀｰﾄ。ｱｼﾞｱ時間では131円を割り込む場面も見られたが、翌日に発表される米3月雇用統計を意識したﾎﾟｼﾞｼｮﾝ調整の買い戻しや、ｸﾛｽ円の上昇がｻﾎﾟｰﾄとなり、ﾄﾞﾙ円はじり高で推移し131.49ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方に発表された米新規失業保険申請件数、失業保険継続受給者数が共に予想を上回り、今週発表済みの弱い経済指標の内容も踏まえ、米景気減速懸念が更に強まり130.95まで下落。しかし、ｲｰｽﾀｰ休暇前でﾎﾟｼﾞｼｮﾝ調整によるﾄﾞﾙが買い戻される展開となり、131.90まで反発。買い一巡後、131.60近辺まで反落。午後は注目材料の米3月雇用統計発表を明日に控え、131.70台付近を挟んだ狭いﾚﾝｼﾞが続き、131.77ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。　一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.09台前半でｽﾀｰﾄ。ｱｼﾞｱ時間では一時ﾄﾞﾙ買いが先行し1.0900を割り込む場面も見られたが、その後、独2月鉱工業生産(前月比)が予想を上回った事や、欧州株の堅調推移を受けて、買い戻しが強まり1.0915ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米経済指標の結果を受け、発表直後に小幅上昇したものの、その後はﾘｽｸｵﾌのﾄﾞﾙ買いが優勢となり、1.0886まで反落し日中安値を更新。その後は下げ渋り、1.0937まで買い戻される。午後は様子見姿勢となり、終盤に小幅反落し、1.0921ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：大橋・西

【昨日の指標等】

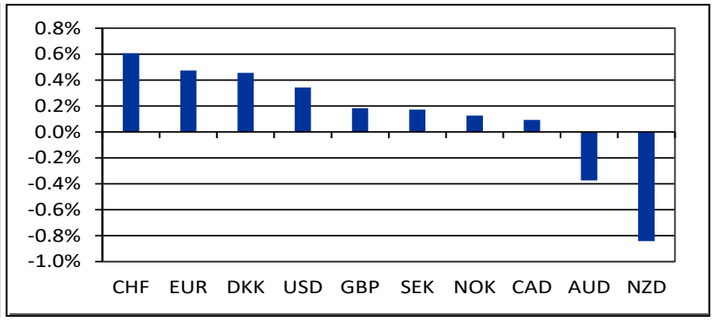
Date	Time		Event		結果	予想
4月6日	10:45	中	Caixin中国PMIコンポジット	3月	54.5	-
	10:45	中	Caixin中国PMIサービス業	3月	57.8	55.0
	15:00	独	鉱工業生産(季調済/前月比)	2月	2.0%	-0.1%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	1-Apr	228k	200k
	21:30	米	失業保険継続受給者数	25-Mar	1823k	1700k
	23:00	米	ブラード・セントルイス連銀総裁　講演	-	「今の金利軌道を進み続けるべきだと思う」	

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
4月7日	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	3月	230k	311k
	21:30	米	失業率	3月	3.6%	3.6%
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	3月	0.3%/4.3%	0.2%/4.6%

【ドル円相場】

【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.50-133.00	1.0850-1.0930	143.00-144.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇。東京時間は130.95レベルでオープン後、5日に発表された米国の軟調な経済指標を受けた流れから一時130.79近辺まで下落する局面も見られたが、米3月雇用統計を意識したポジション調整による買い戻し、実需の買い等からじり高で推移。NY時間発表の米新規失業保険申請件数・米失業保険継続受給者数は共に予想を上振れたことで瞬間的に下落するも、イースター休暇前によるポジション調整によるドル買いから再び上昇し、131.77レベルでクローズ。

本日のドル円は、上昇する展開を想定。理由は主に3つである。①今週のFedのローン貸出データは、ネットで減少(Discount-Window:-18.5bn, BTFP:+14.6bn)しており、銀行信用不安が少しずつ改善している点がみられる。②今週の米MMF残高は過去最大だった一方、流入ペース鈍化が確認されており、①同様にセンチメント改善を示唆しているか。③米OIS FWD Swap4年先1年は、約2.62%まで低下しておりFED Longer run中央値の2.50%が視野に入ってきている。リスク要因としては、休日前で流動性が低下している中、米3月雇用統計が予想対比大幅に下回った場合、景気後退懸念から急速に米金利低下・ドル売りの流れに繋がる可能性には要警戒。

One MIZUHO 未来へ。お客さまとともに